

第2回 NPO法人イスパJPスペイン語文学イベント

メキシコから読む スペイン語文学の愉しみ

講師：柳原孝敦氏（東京大学教授・スペイン語文学者）

参加者全員に
「今読みたい！スペイン語文学リスト」
をプレゼント。



Roberto Bolaño
Carlos Fuentes
Luis Buñuel

この秋『テキストとしての都市メキシコDF』（東京外国語大学出版会）を刊行する柳原孝敦さんをお迎えし、秘蔵写真とともに、ボラーニョ『野生の探偵たち』やフエンテス『澄みわたる大地』、ブニユエル作品などの舞台の秘密をひもとき、スペイン語文学の豊かさ、おもしろさを語っていただきます。ラテンアメリカ文学をこれから読んでみようという方も、すでに親しんでいる方も、ぜひどうぞ。秋の夜長に楽しむ本を見つけてください。

2019年**11月14日**（木）19時～20時30分（18時30分開場）

文京区立**不忍通りふれあい館**ホール

文京区根津2-20-7（ウラ面の地図参照） 東京メトロ千代田線「根津駅」根津交差点方面出口から徒歩2分

申込方法／Peatixで事前にお申込みください。 <https://hispa2019.peatix.com>
参加費／1200円 定員／70名（先着順）

主催／NPO法人イスパニカ文化経済交流協会（イスパJP）
港区赤坂2-2-19アドレスビル1階 <http://hispa2019.org>
お問い合わせ／trad@hispa2019.org



柳原孝敦

Takaatsu Yanagihara

東京大学文学部現代文芸論研究室教授。専門は、スペイン語文学・現代文芸論。著書『ラテンアメリカ主義のレトリック』（エディマン）、『テキストとしての都市メキシコDF』（東京外国語大学出版会）など。訳書にアレホ・カルペンティエール『春の祭典』（国書刊行会）、ロベルト・ボラーニョ『野生の探偵たち』（共訳）、『第三帝国』（共に白水社）、ファン・ガブリエル・バスケス『物が落ちる音』（松籟社）、セサル・アイラ『文学会議』（新潮社）、『グルブ消息不明』（東宣出版）など多数。現在、書肆侃侃房のwebサイトで「亜熱帯から来た男」、NHKラジオテキスト『まいにちスペイン語』（NHK出版）で「スペイン語文学の現在」を連載中。

ブログ<http://criollisimo-cafecriollo.blogspot.com>

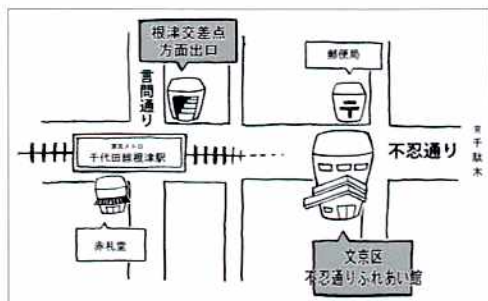
hispaJP

Casa Hispano-japonesa de Cultura y Economía

イスパニカ文化経済交流協会とは

イスパJPは、日本とスペイン語圏諸国との文化理解を促進し、学術や文化芸術、ビジネスにおける交流推進に寄与することをめざして2014年に設立されたNPO法人です。

非営利活動団体として国内外の人々と連携しながら、スペインへの留学サポート、各種の文化イベントや講演会、翻訳出版のサポートや文学情報発信など、日本とスペイン語圏をつなぐさまざまな活動に取り組んでいます。



不忍通りふれあい館アクセス